

授業科目名・形態	介護過程Ⅲ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	高橋 俊文	実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

本講では、クライアントの望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を学ぶ。また、介護過程のプロセス、ケアプランと個別援助計画の関係性、チームとして介護過程を展開していく意味、意義、方法に関して理解を深める。

【到達目標】

- 1) 介護過程とケアマネジメントの関係性を説明できる。
- 2) チームアプローチにおける各職種の役割について説明できる。
- 3) 対象者の状態や状況に応じた介護過程の展開方法について説明できる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 介護過程の意義、目的・目標
- 第 2 回 チームアプローチにおける各職種の役割(講義)
- 第 3 回 介護過程とチームアプローチ(演習)
- 第 4 回 介護過程とケアマネジメントの関係
- 第 5 回 介護過程のプロセス：アセスメント(着眼点)
- 第 6 回 介護過程のプロセス：計画の立案(着眼点)
- 第 7 回 介護過程のプロセス：計画の実施
- 第 8 回 介護過程のプロセス：介護計画の実施評価
- 第 9 回 介護過程の展開における ICF の位置づけ
- 第 10 回 ICF に基づく情報収集の視点
- 第 11 回 ICF の構成要素の概観
- 第 12 回 介護過程実施評価表について
- 第 13 回 介護人材に求められる機能：『介護過程』が必要とされる理由
- 第 14 回 今までの振り返り
- 第 15 回 まとめ

【授業実施方法】

講義および演習をおこなう。

【授業準備】

事例から、クライアントの望む生活の実現には、どのような支援が求められるかを考えておくこと。ICF、生活支援、社会とのつながりについて理解を深めておくこと。

【主な関連する科目】

介護総合演習、介護の基本、障害者福祉論、

【教科書等】

介護過程 (新・介護福祉士養成講座9 [第2版], 中央法規), 「ヘルプマン!」に学ぶ介護過程 中央法規

【参考文献】

田中安平：プロとしての介護福祉士を目指すあなたに、ラグーナ出版、鹿児島市、2016 年。

【成績評価方法】

講義・演習態度(10%)、レポートまたは、課題(30%)、定期試験(60%)

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

地域包括支援センターにてクライアントの生活歴や思いを引き出し、社会的役割の再構築を目指したケアを行ってきた。介護過程のなかでは「その人らしさ」をどのようなプロセスで、どのように実践していくのかを想像できる講義展開をおこなう。

【学生へのメッセージ】

介護過程について、ケアプランとの関係、チームケア、ICF の視点から理解を深めていきます。また、介護実習Ⅱでの学びを内省し、実践知と理論を結びつけながら介護実践が行えるようにして欲しい。